

3. 活用方法

配分枠

674000円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)			
				戦略作物								新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物				その他		
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米	野菜					花き・花木	果樹				その他の高収益作物	
1	地域重点作物(さといも)への助成	1	9,000															110	110	99,000		
2	地域振興作物(さといも、にんにくを除く)への助成	1	6,000															430	430	258,000		
3	地域重点作物(にんにく)への助成	1	21,000															150	150	315,000		
合計(基幹)※4			実面積															690	690	672,000		
合計(二毛作)※4			実面積																			

- ※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
- ※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。
- ※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあつては空欄としてください。
- ※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
- ※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。
- ※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

以下の方法により、追加配分金額を調整する。個票記載の上限単価の範囲内で個票の単価調整を行う。
調整の方法として、全ての個票を基本単価で支払った場合の金額と配分金額から算定した一律の割合で計算し、単価調整する。

①(配分金額÷基本単価での支払い合計額＝一律の割合) ②(各個票の基本単価×一律の割合＝調整された単価)

さといも・・・基本単価15,000円/上限単価25,000円

野菜・・・基本単価10,000円/上限単価15,000円

にんにく・・・基本単価35,000円/上限単価55,000円

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

次の単価調整係数(小数点4位以下切り捨て)を用いて、交付単価を一律に減額(④個票(複数年契約)は除く、また単価は10円単位で計算するものとする)するものとする。

・単価調整係数＝配分額／所要額

6. 高収益作物について

該当なし

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。